

市政懇談会質疑要旨

◎掛合会場

質問・要望・意見	市からの回答
<p>旧町村の首長が執行部の中に入り市政に参画されることは良いことと思うが、反面、速水市長の考えが発揮しにくいのではないかと。(男性b)</p>	<p>強力な執行体制を構築するため、助役2名体制、顧問体制をとった。マイナスに作用することがないよう、いろいろな課題に対しそれぞれの役目を果たしながら雲南市の発展に尽くしたい。(市長)</p>
<p>まちづくりのテーマとして、抽象的なものでなく、中山間地域を前面に押し出した具体的なテーマが必要ではないか。有機農産物の生産、担い手の育成、県人会との交流など中山間地、農村を活かしたまちづくりをしてほしい。県内の他の地域に無い取組みをしてほしい。(男性b)</p>	<p>まちづくりのテーマに基づき5つの戦略を掲げている。その中のひとつに「ふるさと産業の創出、振興」がある。有機農産物の生産等は戦略を推進していくための戦術となる。実際にふるさと産業の創出を進めていくに当たっては、雲南市ならではの農業振興を図っていくために、皆さんにご意見を頂きながら一つ一つ積み上げていくことが必要と思っている。(市長)</p>
<p>人口対策は非常に大きな課題であるが、自然要因、社会要因からいってもなかなか難しいと思う。住宅対策や企業誘致は財政的な問題がありなかなか難しいので、都会の学校との交流や山村留学等を通し、児童数を増やし、人口増につなげる取組みをしてはどうか。(男性b)</p>	<p>雲南市が人口を増やそうとすれば、生まれてくる子を増やすこととよそからの流入人口を増やしていかなければならない。国の対策に加え、地域独自の福祉支援や魅力ある学校教育や社会教育をしていかなければならないと思う。(市長)</p> <p>ただ美しい自然環境だけでは外部との連携も難しい点がある。「素晴らしい自然の中で」ということに合わせ、芸術、文化、教育というソフト面の取組みが極めて重要になる。6町の素晴らしさを見つめ、それを育てて行くことが、ひいてはこの雲南市へ子供たち、あるいは大人が定住するようになるのではないかと考えている。こうしたことから山村留学等も視野に入れて検討して行きたい。(教育長)</p>
<p>県道掛合大東線の改良の見通しを示してほしい。市道については地域委員会で検討して頂いて、要望したい。(男性c)</p>	<p>県道掛合大東線は掛合、三刀屋、木次、大東と繋がったいわば合併支援道路である。県も財政難で今継続中の事業も先の見通しがつかない状況であるが、重要な路線については、今後も市として要望活動をして改良して頂くよう働きかけていきたい。また、市道も合併して2237路線に増えた。非常に厳しい財政状況であるが、継続事業はなるべく早く仕上げ、次の段階に移り皆様のご期待に沿うようにしたいと思っている。(建設部長)</p>
<p>長年の転作や休耕で、中山間地域の棚田が荒廃している。その棚田に水を溜めることによって洪水調整や水道用水の安定確保につながるものと思う。また、野生生物の水飲み場としての役割を持たせることによって、農産物の被害も防ぐのにも役立つのではないかと。今、建設業者には余力があるので予算を確保してもらえばすぐにでも作業が進められる。このことは、上流部、下流部が力を合わせ、広域的に連携をとって実施してほしい。(男性c)</p>	<p>棚田を復田させたり、保水させるために、今のところ市から金を出す考えはないが、集落の方でそうした考えの下中山間地直接支払い制度を活用して頑張ってもらいたい。また、棚田の現状を見ると茅が生えイノシシの巣になっているので、茅を刈って保水能力を高めるような棚田にすることはイノシシ対策にもなると考えている。(産業振興部長)</p> <p>地域全体で治水問題、環境問題を考えていくことは大変重要なことだと思っている。治水対策では、今雲南市は斐伊川下流部を水害から守るため、上流部として尾原ダムに関わっている。また、山が荒れて水産資源に影響が出るなど、環境問題は国民全部が考えて行かなければならない問題であると思う。斐伊川問題を契機にこれからも下流、中流、上流部の住民が環境問題を考えていく機会を持ちたいと思う。(市長)</p>

質問・要望・意見	市からの回答
<p>これからの時代には「三世代家族」が大切ではないか。これは高齢者を大切にすることもあるし、祖父母によって子供に心の指導をしてもらうことにもなる。子供の健全な育成は、行政や地域、社会に委ねるよりも家庭が大事だと思う。(男性c)</p>	<p>三世代というのは理想的な家庭であると思うが、なかなかそうした家族が居ないところもある。それを補うために学校や幼稚園で三世代交流の活動を行うことも必要である。掛合地区は公民館活動が非常に盛んで、日ごろから地域で子供たちの育成に力を入れて頂いている。この取組みをモデルに市全体に広げていきたいと思う。子供たちを取り巻く環境については、家族をはじめ、地域や学校など様々な方からご支援頂ける環境を作りたいと思う。(教育長)</p>
<p>波多出張診療所は建物が老朽化し、設備が貧弱である。早急に新築、充実をお願いしたい。(男性d)</p>	<p>利用状況も含め、今後早急に検討して行かなければならない課題であると思っている。(影山助役)</p>
<p>波多小体育館は地域スポーツの場としての利用もされているが、老朽化と天井の低さに不満を持っている。早急に善処願いたい。(男性d)</p>	<p>統合小学校の建築に合わせてオンリーワン事業で各拠点も整備することになっている。今しばらく辛抱いただきたい。(影山助役)</p>
<p>現在、飯南町で運行されている、頓原～出雲へのバス運行について今後も持続する方向で協力してほしい。(男性d)</p>	<p>これからも継続して頂くようお願いしていきたい。(影山助役)</p>
<p>恩谷のスノーシェットの改良は長年の要望だが、県道でもありなかなか進展しない。市としても県への働きかけを強く要望する。(男性d)</p>	<p>県道川本波多線は一次改良が終わり、今は歩道整備をしており、次の課題はスノーシェットと思っている。今までも県に要望をしてきているが、現場は、そう簡単に改良できる状況ではなく、今後も引き続き要望していきたい。(影山助役)</p>
<p>商業もこの地域で、地域の皆さんにたくさん使ってもらっているので、これからもずっと続けて行きたいと強く思っている。市も大きな顧客なので、いろいろな需要があると思うので、地元業者を使って頂いてお力添え頂きたい。(女性e)</p>	<p>事業規模等の資格要件が必要な場合を除き、地元企業で出来る事は、まず地元第一を心掛けている。(市長)</p>
<p>合併して3ヶ月たったが、掛合の中心部でも車や人が通らなくなり寂しくなった。一番打撃を受けているのは飲食業関係の方でないかと思う。市ではいろいろな会合があると思うが、会場は中心部でなく6町持ち回りの開催にも配慮してほしい。(女性e)</p>	<p>総合センターの職員が減って、職員の飲食の機会が減っていることは否めないが、そういう機会には6町持ち回りでやるというような工夫をしている。商業振興については、雲南市としての魅力を高め、交流人口を拡大し、市外からたくさんの皆さんに来て頂くことによって、旧町村ではできなかった観光産業等の取組みを行い、更に交流人口が拡大し、往来が増えるという状況を作り出すことによって、商業振興や産業振興が図られるよう努力したい。(市長)</p>
<p>教育現場の質の向上として、従来の知識教育あるいは現状維持型教師から、知識をふまえた上で地域社会の実情を把握し先見性を持った社会に開かれた教師、いわば生涯学習型教師が必要ではないかと思う。(男性f)</p>	<p>教職員の不祥事や指導力の問題等については大変憂いている。教職員の視野を広げて行くために、教科や生徒指導の研修だけでなく、市として独自に、幅広く社会性のある視野の広い研修を実施したいと考えている。(教育長)</p>
<p>市民の一体感を構築する上で、子供たちの果たす役割はきわめて重要かつ有効手段であると考えている。保育所、幼稚園、学校と市全体の交流も含めた文化的、スポーツ的な大会を早く実施してほしい。子供たちのつくるコミュニケーションが即保護者の交流の場になるし、それが地域へと広がって行くと思う。こうした計画があるかどうか伺いたい。(男性f)</p>	<p>地域の一体化については、まずはスポーツからと考えている。小学校の合同運動会や音楽会などの開催、あるいは体育協会、体育指導員、レクリエーション協会等々で協議頂きながら、これまでのスポーツ交流を広げて行って頂きたいと思っている。また、児童、生徒の活動についても、まずは地域内での交流活動を高めて行こうと学校へお願いしている。(教育長)</p>
<p>去年は国内外問わず災害年であった。これまで大きな被害が無かったからといってこれからは無いという保証は無い。市民を対象に有事の際の避難のあり方など訓練も含めてマニュアルを検討する考えはないか。特に、高齢者や移動手段を持たない方々の不安を少しでも減らすことが重要なことと考える。(男性f)</p>	<p>雲南市が発足して、まだ、防災会議は出来ていないが、緊急の防災計画はつくっており、いざという時の出動体制は確立している。本格的な防災計画は防災会議を設置して、17年度から策定に着手する。その中で、マニュアルも検討して行く。(総務部長)</p>

質問・要望・意見	市からの回答
<p>子供の学力低下というOECDの調査結果で、総合学習の見直しや土曜日の授業というような論議が起こりつつある。せっかく今の制度が定着しつつあるこの時期に、またそういう発想をされては、子供はもとより、現場に混乱を招くと思う。そもそも今の制度は、人間が人間として正しく生きて行くための基本となる力を育成するために導入されたものと理解している。将来の雲南市を支える人材を育成するためにも生きる力の育成に向け、教育環境整備には積極的な予算配分をしてほしい。(男性f)</p>	<p>学力低下の実態については真摯に受け止め、雲南市の状況もきちんと把握しなければならないと思う。学校教育では、いわゆる主要5教科以外の教科やいろいろな学校行事等の中で、人間として本当に大切なものを教えていきたいと思う。また、地域での活動の中で生きる力が育まれることも大切にして行かなければならないと思う。今後、学習指導要領や授業時間等の見直しがあると思うが、これまで以上に地域や家庭での教育が大事になってくると思う。ということで、限られた財源の中、いろいろ工夫してこうした教育の充実を図って行きたい。(教育長)</p>
<p>情報を市民に伝えることは当然だが、情報提供のあり方として、情報の発信元は住民が理解できるよう説明責任を果たしてほしい。自治組織の情報については、育成段階では重要となってくるので特にお願いしたい。また、インターネットの普及はまだまだなので情報格差が生じるので、あくまでサブ的な利用に留めてほしい。(男性f)</p>	<p>情報提供のあり方については、顔と顔をつき合わせてというのが一番良いと思う。それがかなわない時には広報誌とかCATVで伝えることになる。インターネットはまだまだこれからなので、あくまで補完的に利用したいと思う。(市長)</p>
<p>財政状況が厳しい中、いろいろな事業を精査し、優先順位をつけ、それぞれを相対評価し、その間のプロセスを公表して、更には実施後のリスク管理のあり方も明確に示してほしい。これだけ変化の激しい時代なので、5年といわず、3年でも2年でもチェック機能のあり方、見直しの仕方を考え、住民に示しておくことが大切と思う。(男性f)</p>	<p>町から市になったといっても豊かな町が一緒になったというものではないので、状況は厳しいものがある。今までと視点を変え、行政と住民が一緒になってまちづくりを行かないとなかなか立ち行かないのではないかと思う。したがって、事業についても厳しい選択をしなければならないと思っている。いずれにせよきちんと情報を提供し、皆さんにご理解いただく中でオープンな形での財政運営や行政運営が必要であると思っている。(総務部長)</p>
<p>チャレンジデーについて伺いたい。(男性f)</p>	<p>掛合町、大東町で初めての取組みとなる。5月の最終水曜日に同規模の自治体とスポーツ参加人口を競うスポーツイベント。元々カナダで始まったもので、健康、体力の向上を目指して日常的にスポーツを勧めていこうということから始まったものである。このチャレンジデーから雲南市がひとつになったというようにして頂ければ良いと思う。(教育長)</p>